向陽小だより

相模原市立向陽小学校
学校だより　R8.10.1
10月号
http：//www.sagamihara-koyo-e.ed.jp/

自分の中に「憧れの存在」を

学校長　水野　正人

９月は雨の日が多く、朝夕と日中の寒暖差も大きかったため、体調を崩された方もいらっしゃったのではないでしょうか。１０月は、運動会に向けての練習も始まるので、天候が安定してくれることを祈るばかりです。

さて、皆さんは、自分の人生を歩むうえで、尊敬する人、手本としている人、憧れている人はいますか？ 昔は、文集などに「尊敬する人は？」を書く欄がよくありました。もし今、お子さんがその質問をされたら、なんと答えるでしょうか。

先日、NHKの『ファミリーヒストリー』でタレントの武井壮さんの特集を見ました。凄絶な困難の中でも決してめげず、自らの力で前を向いて歩んでこられた姿に胸が熱くなり、「自分も前向きに頑張ろう」と大きな勇気をもらいました。

私自身の幼少期を振り返ると、憧れの存在が常にいたように思います。幼い頃はウルトラマンなどテレビの中のヒーローに夢中になり、やがてプロ野球の王貞治選手や長嶋茂雄選手などに憧れ、図書室にあるエジソンやヘレン・ケラーなどの伝記も夢中で読んだ時期がありました。社会人になり壁にぶつかった時も、「苦しい時はアントニオ猪木の闘いを思えば自分の苦労なんてたいしたことはない。歯を食いしばって頑張ろう」と自分を奮い立たせてきました。胸の中に「この人のようになりたい」「あの人ならどうするだろう」と思える存在を持つことは、より良く生きるための大きな力になると思います。

そして、尊敬できる人はテレビに出ている有名人や歴史上の偉人だけでなく、私たちのすぐ身の回りにもたくさんいます。私自身もこれまでの歩みの中で、身近な先輩や同僚たちの姿勢や温かい言葉に何度も大きな刺激を受け、ずいぶん励まされ、支えられてきました。日々の関わりの中でそうした人と出会い、言葉を交わし、つながりを深めていくことこそが、私たちの人生をより豊かにしてくれるのだと実感しています。

子どもたちにも、身近な大人や地域の中にたくさんの尊敬できる人を見つけてほしいと思います。そして私たち大人も、子どもたちから「こんな大人になりたい」と思われるような背中を見せていきたいものです。



今月もどうぞよろしくお願いいたします。